

第1回委員会での意見等を踏まえた東京版CDCの方向性

資料2

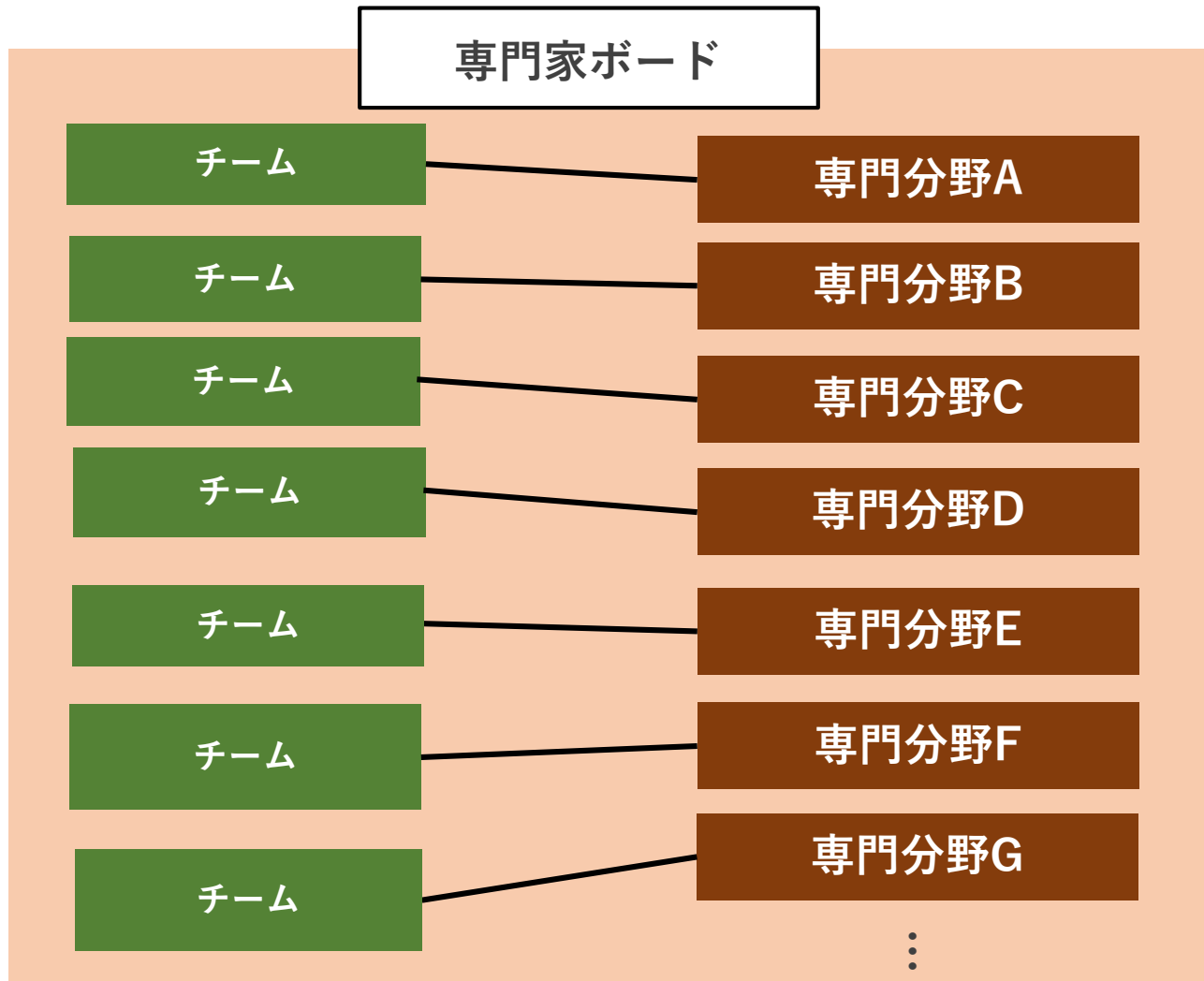
- 10月の東京版CDC立ち上げにあたって、東京の地域特性や最新の科学的知見を踏まえ、行政から独立した立場で感染症対策を提言する「CDC専門家ボード」を設置
- 次のインフルエンザ流行期に向けた喫緊の課題として、新型コロナとの同時流行への備えを、医療機関や保健所等の現場の声も踏まえ、実効性あるものとしていくことが必要

- ✓ これまで東京の感染者の状況や医療提供体制に関し、適時アドバイスをいただいていた新型コロナウイルス感染症医療アドバイザーらを、新たに「新型コロナウイルス感染症タスクフォース」として位置づけ
- ✓ 新型コロナとインフルエンザの同時流行への備えとして、3つのチームを設置
 - 感染症病態解析チーム ⇒ 重症患者の症例分析等に基づく対策
 - 検査手法研究チーム ⇒ 検査・診断体制の充実に向けた対策
 - リスクコミュニケーションチーム ⇒ CDCの情報発信、提言にあたっての助言

専門家ボードとタスクフォースの関係性

常設の機関として専門家ボードを設置し、専門分野ごとにチームを編成

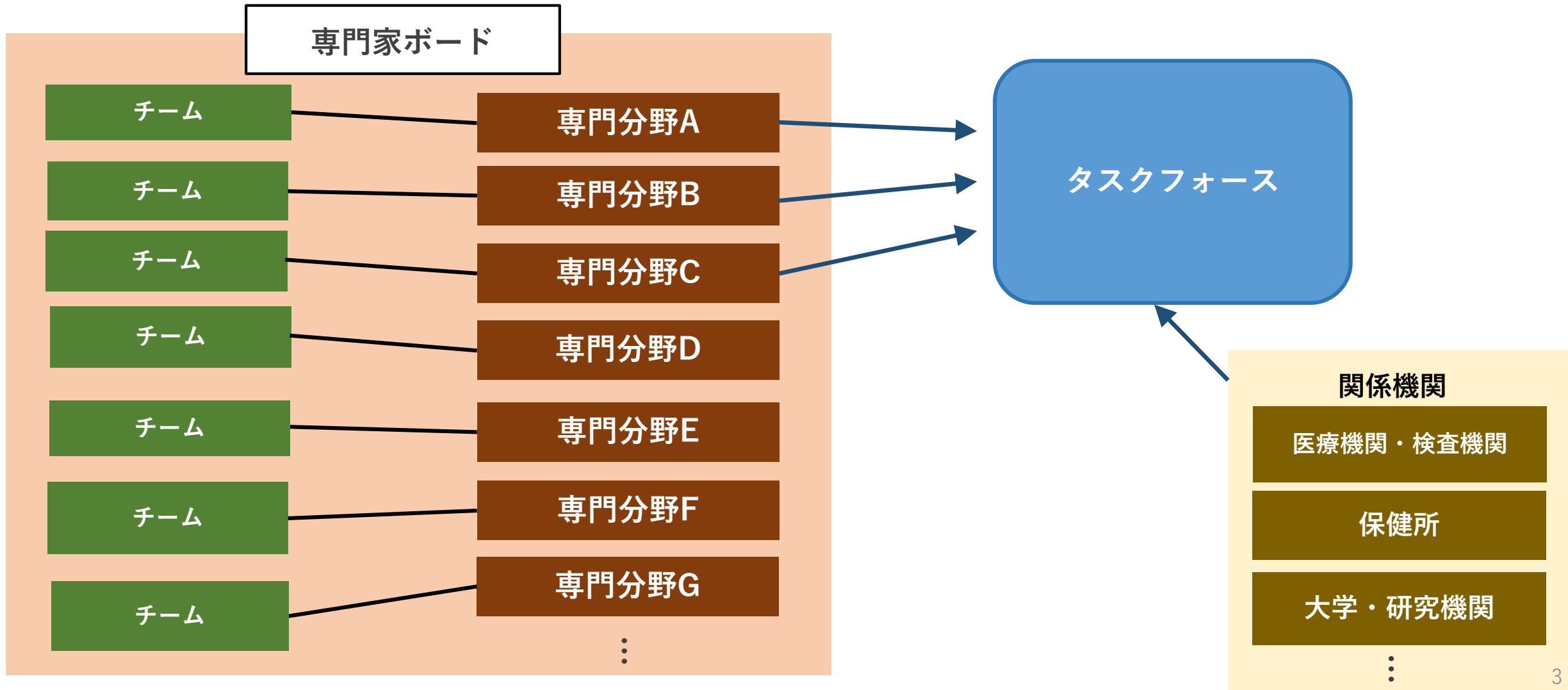
<平事>



専門家ボードとタスクフォースの関係性

発生したタスクに応じて、専門家ボードや関係機関のメンバーからタスクフォースを形成

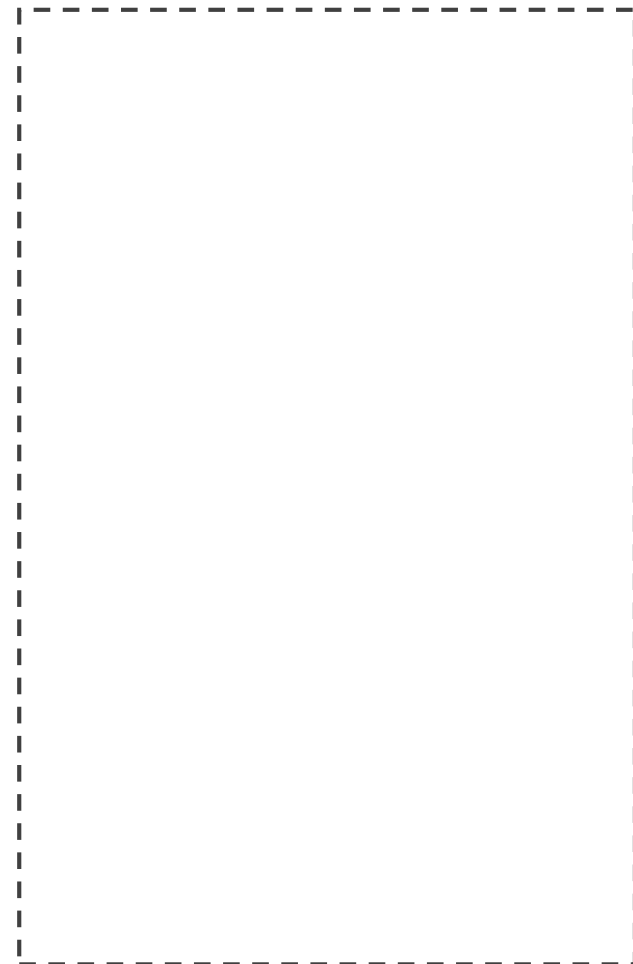
<有事>



CDC専門家ボードとタスクフォースの現状と目指す姿へのステップ

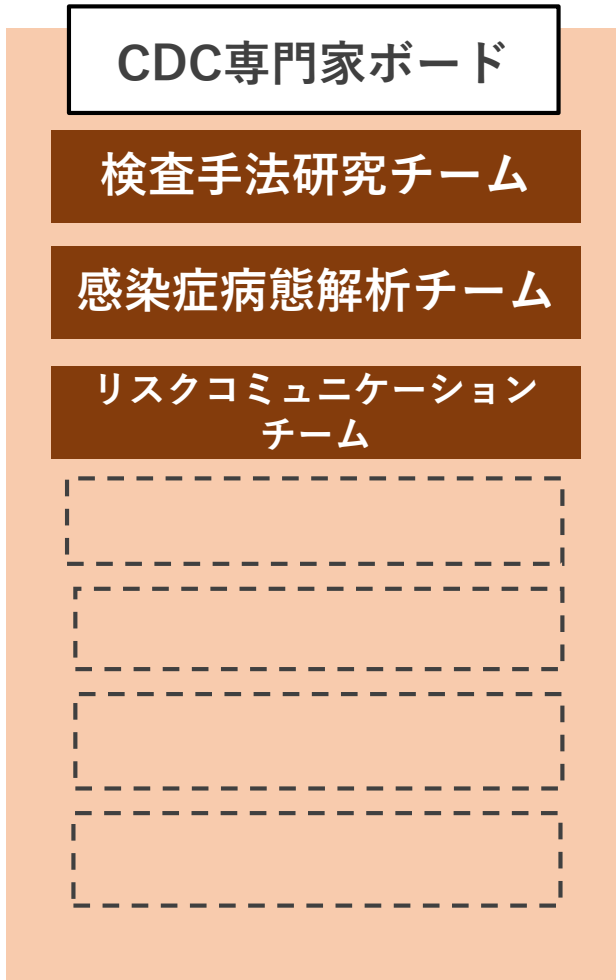
現状

新型コロナウイルス感染症
医療アドバイザー

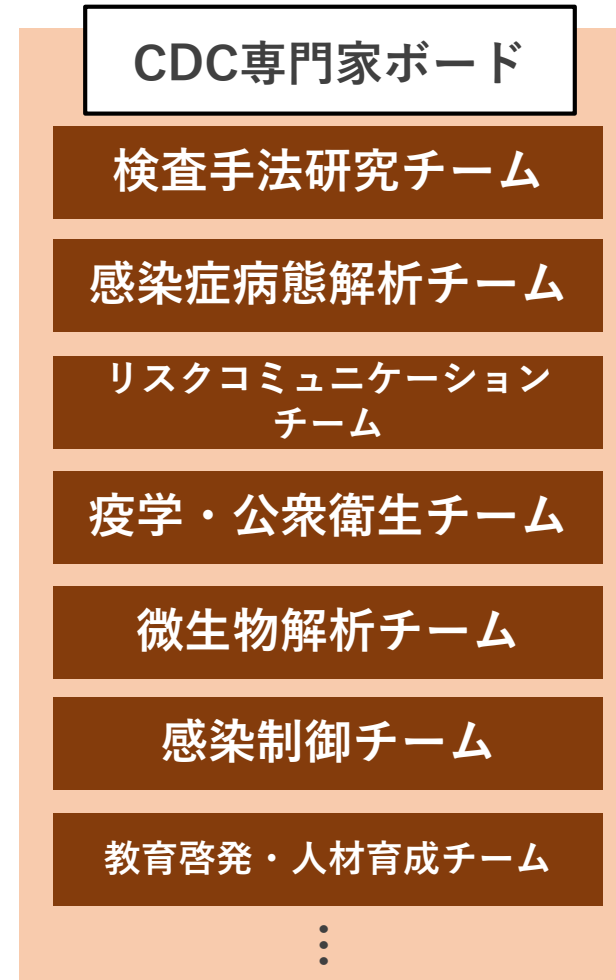


10月

新型コロナウイルス感染症
タスクフォース



目指す姿（平時）



CDC立ち上げ時の取組の三本柱

次のインフルエンザ流行期への備え

① 喫緊の課題について検討する3つのチームの新設

(1) 感染症病態解析チーム

- ・ 第1波、第2波で重症化した症例の解析
- ・ 解析を踏まえた対策の検討

(2) 検査手法研究チーム

- ・ これまでの検査・診断手法の評価・分析
- ・ 新型コロナとインフルエンザの新たな検査・診断手法の確立（同時抗原検査など）

(3) リスクコミュニケーションチーム

- ・ CDCの情報発信、提言にあたっての助言

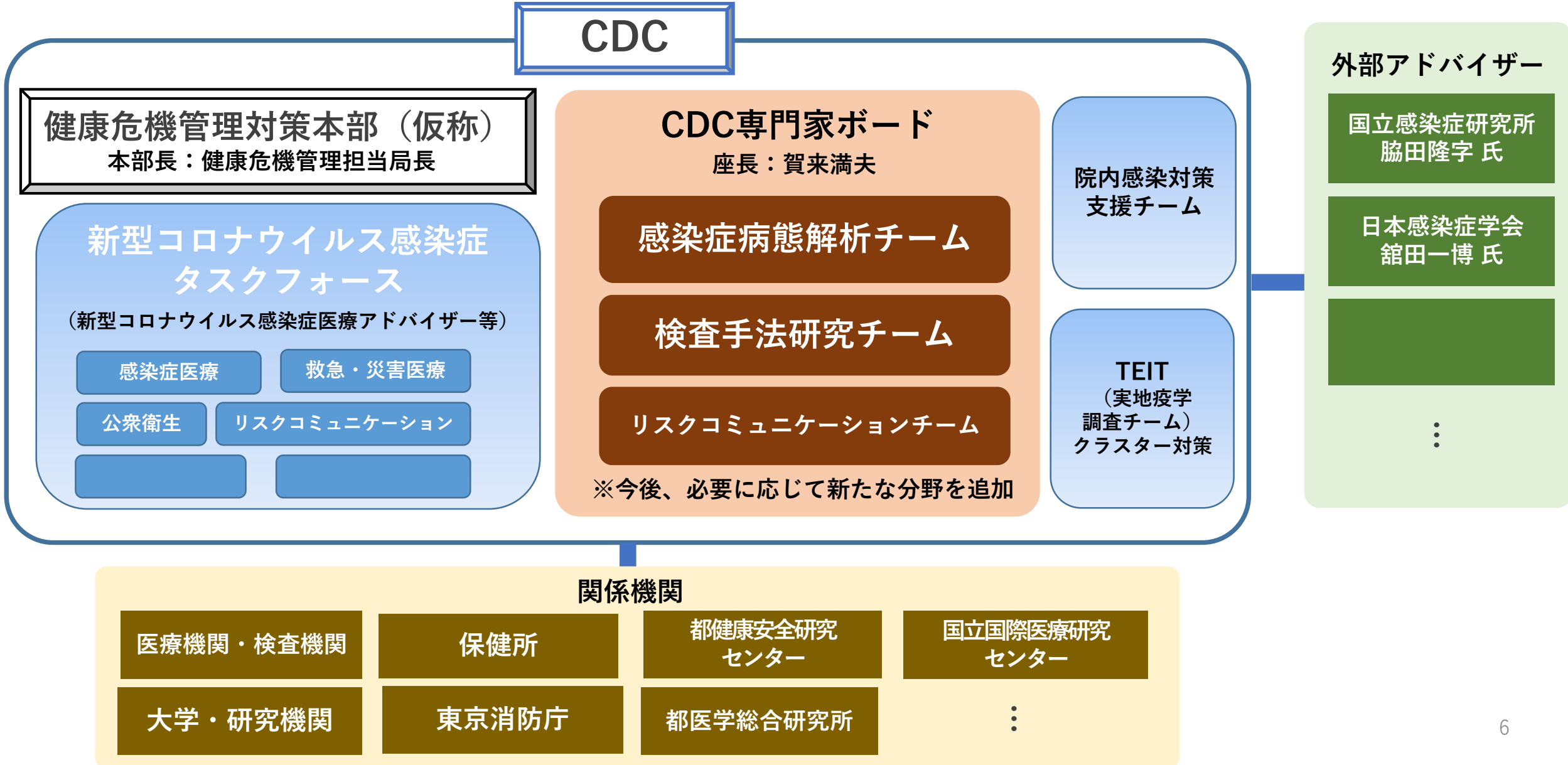
② 「健康危機管理対策本部（仮称）」の設置

健康危機管理担当局長のもと、感染症対策部、総務部、医療政策部、保健政策部、保健所、健康安全部、健康安全研究センター等を結集し、機動的に活動

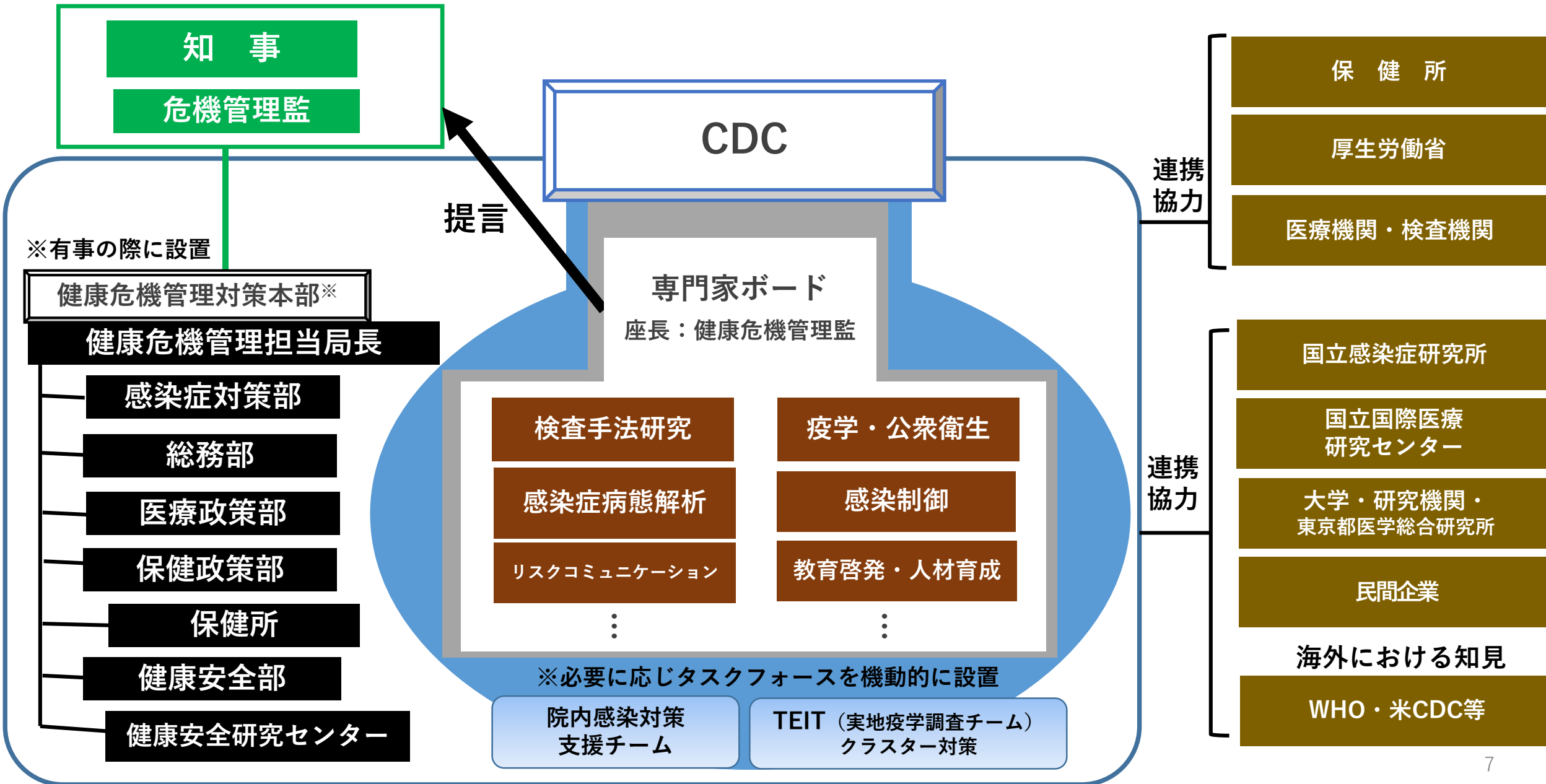
③ 医療機関等での感染拡大防止を図るため、専門家による「院内感染対策支援チーム」の設置

CDC立ち上げ時のイメージ図

次のインフルエンザ流行期に向け、新型コロナとの同時流行への備えとなる施策につながる提言を行う



「東京版CDC」が目指す姿



CDC専門家ボードとタスクフォースの進め方

